

西部でも制御失敗 台南で H5N6 爆発

中時電子報

www.chinatimes.com

2017-02-13

04:10

台南市六甲区菁埔のある七面鳥養殖場で春節期間の 3 日間に 3400 羽以上の七面鳥が病死し、飼い主は飼料の問題と思い動物保護所には連絡をしていなかったが、メディアの暴露後に台南市の動物保護所が人を派遣してサンプルを採取したところ農業委員会防検局が 12 日にこれらの七面鳥が H5N6 亜型の高病原性鳥インフルエンザ感染していたことが確定、これが本年最初に同一養殖場内で H5N6 と H5N2 鳥インフルエンザウィルスが検出された事例となった。農業委員会は防疫レベルを引き上げ、行政院に中央災害対応センターの成立をと訴えた。

農業委員会防疫レベルを引き上げ

農業委員会は、今回 H5N6 鳥インフルエンザのアウトブレイクを引き起こした台南六甲の七面鳥養殖場 鱧ともとの事業登録は養豚業であったが、養豚をやめて空になった場所を七面鳥養殖場にしていたが農政単位に養殖する家畜種類の変更を届け出ておらず、既に『畜牧法』に違反しており、3 万元以上 15 万元以下の罰金刑を課される可能性があると発表。

更に、当該養殖場が感染症を隠蔽していたことが、『動物伝染病予防治療条例』に基づき違反とされ、更に 5 万元以上、100 万元以下の罰金を科される可能性もあるとしている。

隠蔽の七面鳥養殖場は処罰

西部地域の防疫方面では、農業委員会は、六甲の事案養殖場周囲 3 キロ以内の養殖場では制御・監視を、3~5 キロ以内については全面的にパトロールを実施、アヒルのサンプル採取を優先し、ウィルスが拡散した痕跡の有無を確認するとしている。

東部方面については、華蓮は制御・監視範囲を元々の 3 キロから 5 キロまでに拡大し、ニワトリなどの陸禽もまた華蓮で屠殺したものの搬出を禁止、宜蘭では H5N6 が検出された屠殺場から半径 3 キロ以内の鳥類養殖場などの制御監視をしている。

台東州政府もまた昨日、花蓮県の家禽や家禽屠殺場の鳥輸送車の台東県への侵入を禁止して鳥インフルエンザが台東県に入るのを防止している。

農業委員会の陳吉仲副委員長は、H5N6 が既に台湾の東部・西部で出ているが、養殖業の多くが西部地区にあり、防疫レベルを引き上げることが必要であり、林聡県主席委員は既に規定に基づき林全行政院長に報告をするとともに、その同意を経て動植物防災害対応センターを成立させているとした。

台東は花蓮の鳥運搬車を制御

台湾大学獣医専門学院の頼秀穂名誉教授は、過去の鳥インフルエンザは西部から東部に伝わってきており、今回は東部が西部より先にその発生をしている、H5N6 鳥インフルエンザは台湾に侵入してもう一か月になる。西武から東部に蔓延すると防疫単位がこれに警戒せずには防疫は不可能だとし「日本や韓国ではもうアウトブレイクしており、台湾がこれを放置することはできない。」と語った。

専門家はウィルスが既に台湾に入っていたのではと

鳥インフルエンザの検出された養殖場では、飼い主の邱さんは、途方に暮れて防検局は 9 日の試験では陰性だったので、11 日に陽性になるとは考えもしなかったという。記者 5 名は、養殖場をインタビューした際、マスクをただけであったが、12 日にこれが H5N6 ウィルスと確診され、昨日全員が衛生局からの懸念の電話を受けたため、自主管理をしていた。

台南で H5N6 が検出されたことを知り、頼清徳市長は、鳥からヒトへの感染力は、人々の恐れるところだが、鶏肉は必ず政府単位の検査試験を経るので、これに合格して初めてマーケットオンされるため、民衆が鶏肉やアヒルの肉を食べたくないという気持ちにはならないでも大丈夫だ、台南は H5N6 に立ち向かう決心をしていると伝えた。

(中国時報)

..... 以下是中国語原文

西部也失守 台南爆發 H5N6 禽流感

中時電子報

www.chinatimes.com

2017-02-13

04:10

台南市六甲區菁埔一處火雞飼養場過年期間 3 天死了 3400 多隻火雞，飼主以為是飼料出問題，未主動通報動保處，媒體接露後，台南市動保處隨即派員前往採樣，農委會防檢局 12 日確診火雞染上 H5N6 亞型高病原性禽流感，也是今年首例於禽場內同步檢出 H5N6、H5N2 禽流感。農委會隨即拉高防疫層級，報請行政院成立中央災害應變中心。

先前兩個案例當中，花蓮是從田間一隻死亡幼禽身上驗出，宜蘭則是從屠宰場的鴨隻屠體上驗出。專家批，禽流感多從西部向東部傳，本次東部先發現並不合理，質疑病毒早進入台灣，無奈防疫單位卻沒警覺。

農委會提高防疫層級

農委會表示，此次爆發 H5N6 禽流感的台南六甲火雞場原本登記是養豬業，不養豬後空舍改養火雞，未向農政單位變更飼養的禽畜種類，已違反《畜牧法》，可罰 3 萬元以上 15 萬以下罰鍰。

另外，該場還涉及隱匿疫情，依《動物傳染病防治條例》，可再罰 5 萬元以上，100 萬元以下罰鍰。

火雞場涉隱匿將開罰

西部防疫方面，農委會表示，將對六甲案例場周圍 3 公里內的養禽場採取管制及監控，3 至 5 公里內全面訪視，優先對鴨隻採樣，以確認病毒是否有擴散跡象。

東部方面，花蓮監測管制由原本半徑 3 公里擴大至 5 公里，雞隻等陸禽也禁止運出花蓮屠宰，宜蘭則針對驗出 H5N6 的屠宰場半徑 3 公里內禽場進行管制監測。

台東縣政府昨也公告，禁止花蓮縣的家禽、家禽屠宰場的運禽車，進入台東縣境，防堵禽流感情況擴散到台東縣境。

農委會副主委陳吉仲表示，H5N6 已在東西部出現疫情，養禽業多集中在西部，有必要提高防疫，主委林聰賢已依規定向行政院長林全報告，並經同意成立動植物疫災中央災害應變中心。

台東管制花蓮運禽車

台大獸醫專業學院名譽教授賴秀穗指出，過去禽流感多由西部往東部傳，此次卻是東部比西部還早傳出，研判 H5N6 禽流感早就進入台灣一個月了，由西部向東部蔓延，無奈防疫單位都沒警覺，「日本韓國都爆發了，台灣怎麼可能逃得過」。

專家疑病毒早入台灣

面對禽場驗出禽流感，邱姓飼主感到無奈說，防檢局 9 日初步檢驗為陰性，沒想到 11 日變成陽性。至於 5 名記者曾到場採訪時，僅戴上口罩，12 日確診為恐是禽傳人的 H5N6 病毒，昨天都接獲衛生局關切電話，將自主管理。

得知台南驗出 H5N6 禽流感，市長賴清德表示，禽傳人的傳染力，並非大家想像中的可怕，禽肉一定會經過政府單位檢驗，合格才上市，民眾不要因此不敢吃雞肉、鴨肉，台南有決心面對 H5N6 這場疫情。

(中國時報)